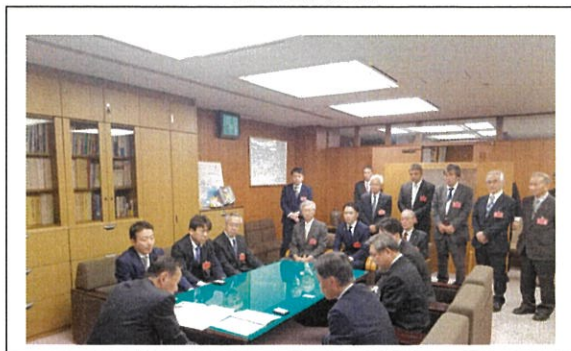


7 要望活動の概要

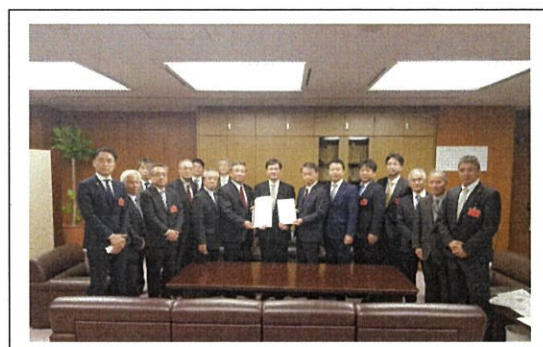
- (1) 日 時 令和元年 11 月 19 日 (火) 午後 4 時～5 時
- (2) 場 所 国土交通省道路局
- (3) 要望内容 山陰近畿自動車道道路の整備促進を求める要望活動の手交 (別添)
【意見交換】



【要望書の手交】



【要望書の手交】



8 山陰近畿自動車道路整備促進決起大会の概要 (要望書は別添)

- (1) 日 時 令和元年 11 月 20 日 (水) 午前 9 時 30 分～10 時 30 分
- (2) 場 所 ホテルニューオオタニ
- (3) 参加者 藤田 太、和田正幸、水野孝典
- (4) 内 容

- ・開会あいさつ
- ・主催者あいさつ
- ・来賓あいさつ
- ・要望書手交
- ・意見発表
三府県知事、国会議員、
地元関係者、地元市町長
- ・「がんばろう」三唱
- ・閉会



【主催者・石破国会議員のあいさつ】



【要望書の手交】



【がんばろう三唱】

9 所見

山陰近畿自動車道は、京都縦貫自動車道、北近畿豊岡自動車道、鳥取自動車道、山陰自動車道と連結し、日本海国土軸を形成する道路であり、地方創生及び国土強靱化の実現に欠かせない重要な道路である。

丹後地域においては、京都縦貫自動車道の全線開通、山陰近畿自動車道の延伸により、観光客の増加や新たな企業進出など高速道路の整備による多大なストック効果が表れている。このよした効果を更に高め、当地域の経済・産業の活性化のためには、山陰近畿自動車道の早期全線整備が不可欠である。また、頻発・激甚化する自然災害を踏まえ、緊急輸送道路の整備は喫緊の課題である。

このような認識の元、国土交通省への要望活動とホテルニューオオタニで行われた「山陰近畿自動車道路整備推進決起大会」に参加した。

国土交通省では、道路関係の幹部職員の方々に要望書を手交した。翌日の「山陰近畿自動車道路整備推進決起大会」では、森本工業団地に進出を決められた、金志社長から「京都縦貫道の完成と近畿自動車道の京丹後市までの開通により企業活動の好影響」、さらには「京丹後市から兵庫県豊岡までの延伸でさらなる企業活動の後押しになると期待している」という趣旨の、地元代表としての意見発表があった。

地元選出の国会議員、池田道路局長から、力強い挨拶もあり、国の道路整備に関する予算は、今後もきびしいとは思うが、国会議員をはじめ国土交通省の方々には、国土強靱化など道路予算の一層の拡充に向けて尽力願いたい、また、大いに期待もしている。市会議員としても今後もさらなる要望活動を進め、地元の声を国に伝えていかなければならないと考えている。